



大村中学校通信 No21

チーム大中 思いを力に!

学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成

校訓 「 自主・創造・敬愛 」 R2. 10. 28発行 文責 校長 松崎大樹

“この秋、大村中学校では、より良い学校教育を通じてより良い社会を創る” という「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、これまでの学びを地域に発信すると共に、地域社会に学びの場を求めていきます!



令和3年度から学校現場で完全実施となる中学校新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しており、その中では、これからの社会を創り出していく生徒たちが、社会や世界に向き合い、関わり合いを持ちながら、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を、教育課程において明確に位置づけ、身につけさせていくことが重要とされています。

また、その実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、社会教育との連携を図るなど、学校教育を学校内だけに閉じることなく、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることとなっています。そこで、大村中学校では、10月30日(金)に全学年で下記のような教育活動を一齐に展開します! 学年別にその教育活動をその1~3で記載していますので、ご一読ください。



その1 地域の方々・保護者をお招きして、第3学年「総合的な学習の時間発表会」を開催します!

第3年生の総合的な学習の時間では、『地域に拓く』を学年のテーマとし、5コースに分かれて学習活動に取り組んできました。そして、大村中学校としてもコロナ禍の中、今年度初めて保護者の皆様と共に地域の方々をお招きし、10月30日(金)13:00~標記の発表会を開催させていただきます。現在は、最後の追い上げや最終調整に奮闘中のところです。乞うご期待ください。

コココデショ

劇「グッドバイマイ…」

創作

ドキュメンタリー

水主町コココデショ保存会の皆様のご熱心なご指導のもと、地域の伝統芸能をしっかり受け継ぎ、表現できるよう、これまで一生懸命に稽古に取り組んできました。今までのコココデショを超えられるように気持ちをそろえて頑張りたいです。そして、本番で見てくれる方々に大きな感動を届けたいと思います。

この劇のテーマは、「生きる」ということ。私たちがこの劇を演じることで、どんな運命が待ち受けるとしても一生懸命生きることが大切というメッセージを観客の皆様へ届けたいと思います。そのために、役者一人一人が抱く熱い思いをしっかりと伝えられるよう、役作りに真剣に取り組んでいきます。是非、私達の公演を見て下さい。お待ちしております。

創作コースは、さらに書画コースと農作物コースの2つに分かれて学習活動に取り組みました。書画コースでは、その時々思いやメッセージを書画や掲示物に表現して届けました。農作物コースは、落花生作りに取り組み、食品加工まで発展させました。

4コースの生徒たちの楽しそうに活動しているところや、キツそうにしているところを、インタビューと共に写真を撮影し、これをもとにムービーを作成しました。本番では、皆さんに感動や笑いをお届けできるムービーを作成して公開したいです!

企画発信

3年生の総合的な学習の時間の活動について、保護者や生徒の皆さんに発信するためにビデオや新聞・掲示物を作りました。普段お世話になっている方々に私達が目標に向かって頑張っているところをしっかりと伝えていきたいです。



気合いが入ったコココデショの稽古です!

劇「グッドバイマイ…」の練習風景です。

「創作」農作物コース 大中の畑で育った落花生です!



「創作」書画コース 心を込めて文字を書いています!

ドキュメンタリーの生徒たち。真剣な眼差しで作業しています。

企画発信では、各コースの活動をもとに新聞を作成し、発信しました!



お願い

「総合的な学習の時間発表会」ご来場の際には、コロナ感染予防防止対策(検温測定・消毒・マスク着用)にご協力をお願いします。

総合的な学習の時間の目的について

本校では、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習活動に取り組みさせることで、よりよく課題を解決すると共に、自己の生き方を考えていくための資質・能力を、生徒一人一人に育むことを目的として、この総合的な学習の時間の教育活動を全学年で展開しています。

その2 第2学年では大村市の「浄水管理センター」の見学を通してSDGs(持続可能な開発目標)について考えを深めます。

第2学年では、総合的な学習の時間を活用して、これまでSDGsについて学習に取り組んできました。このSDGsとは、「誰一人取り残さない」を合い言葉に、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17の目標と169のターゲットから構成されています。

そこで、2年生の生徒たちは、自らの興味・関心に従って、このSDGsの17の目標の中から選択し、探求学習に取り組んできたのです。そして、今回、SDGsの具現化のための大村市の施設として「浄水管理センター」を直接見学し、学ばせていただく中で、さらにSDGsについての学習を深め、生徒一人一人の社会や世界への関わり方を模索させようとしています。



SDGsの17の目標のうち、6番目に安全な水とトイレを世界中に、そして、14番目に海の豊かさを守ろうという目標があります。

水は、私たちの生活に欠かせない大切な存在です。大村浄水管理センターでは、美しい自然環境を守るため、家庭や工場などから流れてくる汚水をきれいに処理して、大村湾に流しています。



大村市浄水管理センター

地球には、たくさんの水があります。でも、そのほとんどは海水で、わたしたちが使える水は、川や、地下水などほんの一部しかありません。地球のすべての水をお風呂の浴そう(180リットル)1杯だとしたら、使える水は、大きじ1杯分しかないのです！



その3 第1学年では学習の場を郷土の史跡等に向け大村市内の「地域探訪」に取り組みます。



第1学年では、「地域探訪」を計画し、郷土の史跡等の散策、そして、その場所ではできない学びを通して、自分が生まれ育ったこの大村市の歴史について深く知るために地域学習を展開します。

方法としては、1クラスを4~5名の6~7班にグループ分けし、1学年6クラス合計40グループで「地域探訪」を行います。また、コースに関しては、右に示す7つのポイントは必ず通過しなければいけません。残りの史跡等は自らの興味・関心にもとづいて班の仲間と相談して自由に決定してよいものとなっています。

また、第1学年としては、この「地域探訪」を通して地域学習を深めることと併せて、他者を理解しチームワークを高めさせると共に、その場における正しい判断や仲間と協力して行動する力を育みたいと考えています。

深まる秋の中、学びの多い、そして仲間との絆が深まる「地域探訪」を期待しています。1年生のみなさん、しっかり頑張ってください！



班でコースを熱心に協議する様子



本経寺・大村藩主大村家墓所



行員養成所跡地



放虎原殉教地



ミライON



森園公園



旧長崎街道大村宿



忠霊塔公園



日本初のキリシタン大名
大村純忠

ちょっとコラム 大村 純忠

(おむらすみただ)について
戦国時代から安土桃山時代にかけて活躍したこの大村の大名であり、大村氏の第12代当主。天文2年(1533年)、肥前国の戦国大名・有馬晴純の次男として誕生。母が大村純伊(大村の大名)の娘であったために、天文7年(1538年)に大村純前の養嗣子(ようし)となり、天文19年(1550年)家督を継ぎました。永禄6年(1563年)に日本初のキリシタン大名となり、南蛮貿易によって西洋の様々な文化や学問の受け入れ先となった横瀬浦港、福田港、長崎港の3つの港を開港した人物として知られています。

1564年、現在の忠霊塔公園付近に三城を築きました。1586年息子、喜前に家督を譲って隠居生活に入り、1687年6月、病床にあった大村純忠は、郡川近くの坂口館で逝去しました。